

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		放課後等デイサービス unico南ヶ丘		公表日	2026年4月29日	
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	○			
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	○			
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	○			
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	○		毎日清掃を行い、子どもたちが清潔な環境で過ごせるようにしています。	
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	○		子どもたちが自由に過ごす部屋を選べるようにしています。	
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	○		毎日の朝礼や毎月の会議で業務や支援について振り返り、目標を考える時間を設けています。	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○			
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		毎日の朝礼や毎月の会議で意見交換、業務改善について話し合う時間を設けています。	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。		○	第三者による外部評価は行っていませんが、定期的に本部の社員による評価を行い改善に努めています。	
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内で研修を開催する機会が確保されているか。	○		毎月、研修を行っています。	
	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	○			
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	○			
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	○			
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	○			
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	○			

適切な支援の提供	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	○		
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	○		毎月2回会議を行い、チームで立案をしています。子どもたちの要望も取り入れながら日々の活動を立案しています。
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	○		
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせさせて放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	○		
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	○		朝礼でその日の児童や支援について打ち合わせを行い、役割分担をして支援を行っています。
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	○		翌日の朝礼で前日の支援を振り返り、気付いたことを話し合う時間を設けています。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	○		
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	○		
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせさせて支援を行っているか。	○		
関係機関や保護者との連携	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	○		
	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	○		
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	○		
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	○		
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定子ども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	○		保育所や幼稚園からの情報共有はいただけておりませんが、保護者や相談支援員さんにご協力いただき情報共有を行っています。
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	○		
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	○		
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	○		児童クラブや児童館での交流は行っていませんが、近隣の公園やコミュニティセンターなどで地域の子どもたちと同じ場所を共有する機会があります。
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	○		

	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達 の状況や課題について共通理解を持っているか。	○		送迎時や連絡帳にて日々の様子をお伝 えています。必要に応じて面談の機 会を設けたりもしています。	
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支 援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の 参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。		○		
保 護 者 へ の 説 明 等	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な 説明を行っているか。	○			
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保 護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点 を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けて いるか。	○			
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明 を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得 ているか。	○			
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、 面談や必要な助言と支援を行っているか。	○		ご本人とご家族の意向に沿って適宜お こなっています。	
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する 等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援を しているか。また、きょうだい同士で交流する機械を設ける 等の支援をしているか。		○		
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備す るとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合 に迅速かつ適切に対応しているか。	○			
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用する ことにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこ どもや保護者に対して発信しているか。	○			
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	○			
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のた めの配慮をしているか。	○			
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事 業運営を図っているか。		○		
非 常 時 等 の 対 応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マン ュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に 周知するとともに、発生を想定した訓練を実施している か。	○			
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発 生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行って いるか。	○		定期的に災害時に備えた避難訓練を 行っています	
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況 を確認しているか。	○			
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基 づく対応がされているか。	○			
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他 必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が 行われているか。	○			
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよ う、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知し ているか。	○			

52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	○			
53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	○			
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	○			

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	放課後等デイサービス unico南ヶ丘		
○保護者評価実施期間	2026年 1月 1日		2026年 2月 21日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	41名	(回答者数) 26名
○従業者評価実施期間	2026年 1月 1日		2026年 2月 21日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	5名	(回答者数) 5名
○事業者向け自己評価表作成日	2026年 3月 19日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	安心してありのままいられる居場所作り	<ul style="list-style-type: none"> ・支援員がお子様の気持ちに寄り添う姿勢を大切に支援しております ・お子様が安心して過ごせるように日々の清掃を欠かさずおこなっております ・お子様のペースに合わせて通所できるように保護者様と相談し合いながらできることをおこなっております 	清潔な室内環境の維持を徹底してまいります。毎日の清掃と、お子様が「やってみたい」と意欲的に活動を選択できるための環境配置に努めてまいります。
2	状況や状態に応じて、過ごす場所や過ごし方が選べる環境	<ul style="list-style-type: none"> ・部屋数が6つあり、気持ちの状態や活動に応じて過ごす場所が選びやすくなっております ・部屋ごとに区切りやドアがありますが、必ず支援員が目の届く位置での配置を声をかけあい安全にも配慮するように意識しております 	<ul style="list-style-type: none"> ・どの場所を選択しても安全に過ごせる環境作りを努めてまいります ・事故や怪我が発生した際は事実を速やかに連絡、連携して状況を共有する体制を整えてまいります
3	多様な経験の機会を選択肢として提供	<ul style="list-style-type: none"> ・お子様たちの「やってみたい」気持ちを大切に活動の内容を立案、工夫して様々な経験ができるようにしております ・お子様のペースに合わせて、集団活動か個別活動を選択できる機会を提供しております 	<ul style="list-style-type: none"> ・お子様たちが主体的に活動ができる機会の充実化を目指してまいります ・職員研修や日々の振り返りなどの充実化を図り、専門的な視点でお子様たちの「育つ力」を伸ばせるように努めてまいります

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	日々の支援に対する安心感や療育効果を感じていただけるような保護者様との連携	コーチングをベースにしたコミュニケーションの実践や機会提供を日々おこなっておりますが、その効果やお子様一人ひとりの成長をより感じていただけるように日頃から細やかな共有や報告、支援内容の質向上が必要だと考えております	<ul style="list-style-type: none"> ・保護者様に安心していただけるよう、より一層細やかな情報や支援の効果等を共有できる機会を増やしてまいります ・情報伝達のみだけでなく、どのような支援をおこなったのか、どのような成長が見られているのか、支援員間で日々振り返り、保護者様へ具体的にお伝えできるように連携強化を図ってまいります
2	支援の専門性とワークショップの質向上	研修は定期的実施しており、日々の支援や事例について振り返っていますが、支援員の受講や参加姿勢を正し、お子様たちの大事な育つ機会と捉え、学びの姿勢への意識定着が必要だと考えております	「専門知識の不足」「集団療育の機能不全」というご意見を真摯に受け止め、研修の受講や受講に対する姿勢、事例検討会を強化し、お子様たちの社会性を育むための効果的なワークショップの質向上に努めてまいります
3	安全管理体制の再構築と周知徹底	怪我や事故が発生した際は包み隠さず速やかに保護者様、関係各所へ連絡し、状況を共有する体制を整えておりますが、保護者様へ緊急時の連絡体制などの周知が徹底されていないと考えます	事故防止マニュアルを再度確認して支援員間で共通認識を揃え、シミュレーション訓練等をおこない、緊急時の連絡体制について書面等で改めて周知してまいります